



府中市立府中第六中学校

令和3年4月7日 第1号

# 六中だより

～学校教育目標～

“学力と情操”

“健康と忍耐力”

“勤労と責任”

令和三年度 第五十六回入学式 式辞

校長 黒沼正彦

春の息吹が満ちあふれるこの良き日に、入学式を迎えた府中第六中学校の新入生のみなさん、入学おめでとう。みなさんは本校の第五十六回目の新入生です。教職員一同、心から新入生のみなさんを歓迎します。そして保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本来なら、来賓の方々、そして在校生がこの場に並び、みなさんの入学をお祝いするところですが、そのような入学式の形が取れないことを非常に残念に思います。

今現在、新型コロナウイルスという予想もしなかった脅威に世界中がさらされ、それがいつ収束するのも分からない状況です。新入生のみなさんもこの一年、小学校の最高学年となりながら、いろいろなことを我慢せざるを得ず、大変つらい一年だったと思います。みなさん、よく頑張りましたね。

みなさんは今、担任の先生から名前を呼ばれ、しっかりと返事をしました。その返事には「六中生として頑張ります。」という決意が込められていると思います。そんな今のこの気持ちをぜひ大切にしてください。

皆さんの入学を待つように、この四月から教科書が新しくなります。学校での学びも変わります。先生たちから与えられるのではなく、今まで以上にみなさんが自らおもしろいと感じながら学んでいくことを大切にしたい授業となるよう先生たちもいろいろ工夫をしていきます。皆さんも、遠慮せず、どんどん自分から進んで学んでいくということを大切にしていってください。

さて、府中第六中学校には「信頼と思いやり」というスローガンがあります。信頼とは、「相手を信用し、頼りにすることができる関係」です。今日から仲間やお世話になる先生方、地域の方々、そして一番身近な家族との信頼どう築くかをいつも考えて行動してください。その「信頼」を築くために「思いやり」の気持ちを大切にしてください。相手の気持ちや立場を考え、それを言葉で伝え、行動に表すことで、絆が生まれます。たしかな絆、確かな信頼関係が、必ずみなさんの中学校生活を豊かなものにするでしょう。

中学校生活は必ずしも楽しいことばかりではないかもしれませんが、苦しいこともあるでしょう。三月の本校の卒業式で、私は卒業生にベンジャミンフランクリンの「困難を予期するな。決して起こらないかも知れぬことに心を悩ますな。常に心に太陽を持て。」という言葉を送りました。その言葉を新入生のみなさんにも贈ります。誰でもまだ見ぬ未来に不安を感じるものです。でも、起きてもないことを恐れるのではなく、失敗してもその経験を生かして前より自分は強くなるぐらいに思って生きよう。ベンジャミン・フランクリンはそう私たちに語りかけているのだと思います。みなさんも、いつも心に太陽を灯してこれからの中学校生活を一步一步歩んで行ってほしいと思います。

最後に六中生の誇りの話をします。それは「あいさつ」「ボランティア」「合唱」です。この三つはこれまでの先輩たちが築いた六中の誇りです。この一年間「ボランティア」「合唱」はほとんどできませんでした。今後、状況が許す限り、これらの誇りある六中を取り戻していきたいと思います。その一歩として、今も先輩たちと一緒にできる「あいさつ」をお願いします。大きな声のあいさつ、これをみなさんが六中の一員になった証だと思ってがんばりましょう。

あらためまして、新入生の保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。本校の教職員一同、皆様の期待に添うよう、入学した生徒たちの成長に誠心誠意よりそって、力を注いでまいります。保護者の皆様、地域の皆様と連携し合い、よりよい府中第六中学校を目指して参ります。今後とも本校へのご理解、ご協力をお願い申し上げます、式辞と致します。

令和三年四月七日

～教職員の紹介～

保護者配布版のみ

掲載しています

